

海外安全対策情報（２０２３年４月～６月）

在ベネズエラ日本国大使館

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯの統計によれば、２０２３年４月～６月に発生した抗議デモの件数は１，５３７件で、前年（１，９８３件）比で約２２％減少しました。

同期間中、デモ活動の理由として最も多かったのは、経済・社会・文化・環境に関する権利（DESCA）の要求に関するもので約８２％を占めました。一方、市民権・政治的権利（DCP）の要求は、全体の１８％にとどまりましたが、その中でも、政治的権利の要求と擁護に関連する抗議活動が依然として継続しており、こうした活動は２０２４年に予定される大統領選挙に向けて拡大していくと見られます。

この期間中、国内で少なくとも３９件のデモ活動が治安当局によって抑圧され、７人が負傷しました。抗議デモに関連する死者数は０人でした。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１） 全般

当地治安当局によれば、２０２３年４月～６月の全国の犯罪発生認知総件数は、前年同期と比較して横ばいで推移し、カラカス首都区では約１３％増加しました。

（２） 各論

同当局によれば、これまで減少傾向であった殺人事件や強盗事件等の凶悪事件の発生件数が増加に転じ、特に自動車窃盗事件の発生件数が大幅に増加しました。この傾向は、カラカス首都区も同様で、全国平均を上回る勢いで発生しています。カラカス首都区のほか、人口が集中するその他の都市でも犯罪の発生件数が増加傾向にあります。

（３） 邦人等の被害事案

なし。

３ テロ・爆弾事件発生状況

報道等によれば、国境沿いの地域において、みかじめ料を払わない商店等に爆発物を投げ込む事案が散発的に発生しています。引き続き、これらの地域へは近づかないようにしてください。また、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、２０２３年４月～６月中に、地方都市において身代金目的誘拐事件が発生しています。また、報道やＳＮＳの情報によると、治安当局が把握していない事件も散発的に発生している模様です。強盗事件や窃盗事件が、誘拐事件に発展することもありますので、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段、時間帯を十分に検討してください。また、移動中は周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。